

【令和6年度予算 15,661百万円（13,246百万円）】  
【令和5年度補正予算額 6,039百万円】

世界水準の「ナショナルパーク」を実現し、国立公園の保護と利用の好循環により、地域活性化を図ります。

## 1. 事業目的

- 日本の国立公園のブランド力を高め、国内外の誘客を促進。利用者数だけでなく、滞在時間を延ばし、自然を満喫できる上質なツーリズムを実現。
- 地域の様々な主体が協働し、地域の経済社会を活性化させ、自然環境の保全へ再投資される好循環を生み出す。

## 2. 事業内容 \* : 国際観光旅客税を活用した事業 + : R5年度補正事業

国立公園訪日外国人利用者数は2019年に約667万人まで増加。しかし、**新型コロナウイルス感染症の影響により国内外の観光客が大幅に減少**し、国立公園の観光地では大きな打撃が生じた。これを踏まえ、改正自然公園法を活用しつつ自治体・民間団体等との連携を促進し、**国内利用客の早期回復、ゼロカーボンパーク推進を含むサステナブルな観光地の形成、インバウンドの受入環境向上と段階的回復**に向けた取組を図る。

- ・滞在環境上質化\*\* / 多言語化\* : 廃屋撤去等の景観改善、多言語解説の整備・充実等
- ・滞在体験魅力向上・感動体験創出\*\* : 各種計画の策定、地域協働実施体制の構築、アドベンチャートラベルの展開、ネイチャーポジティブツアーの造成等
- ・基盤的な利用施設の整備+ / 長寿命化+ : ビジターセンター・登山道の再整備、デジタル展示\*等
- ・国立公園の魅力発信\* : 誘客促進プロモーション等
- ・受入環境・体制の充実 / 脱炭素型公園づくり / 山小屋支援 : 広域周遊、自治体・民間団体等との連携促進、利用者負担の仕組みづくり / 計画検討 / 環境配慮型トイレ導入等

## 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業 / 交付金 / 補助金
- 請負先・交付対象 民間事業者・団体 / 都道府県・市町村
- 実施期間 平成28年度～

## 4. 事業イメージ



・ビジターセンター等の整備



撤去前の廃屋  
・廃屋撤去等の景観改善



・アドベンチャートラベルの展開



・各種計画の策定、サウンディング調査



・利用者負担の仕組みづくり



・デジタル展示の導入

インバウンド再開を踏まえ、国立公園満喫プロジェクトの更なる展開として、民間活用による国立公園利用拠点の面的な魅力向上を始めとした誘客支援に取り組み、美しい自然の中での感動体験を柱とした滞在型・高付加価値観光の推進を図る。

## 国立公園等の磨き上げ

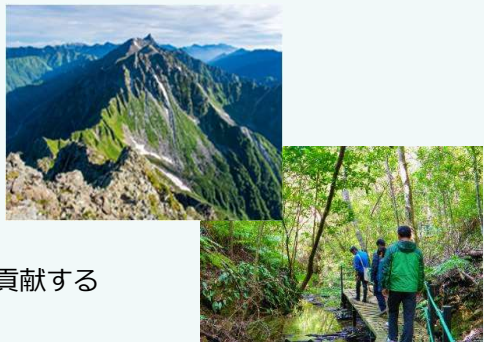
### 利用拠点の滞在環境の上質化

- 外国人旅行者の満足度向上等のため、地域で策定する利用拠点計画に基づき、廃屋撤去、まちなみの改善、引き算の景観改善等の利用拠点の面的な再生の推進を支援



### 滞在体験魅力向上・感動体験創出

- 国立公園ならではの感動体験：先端モデル地域等においてインバウンド向けの各種計画の策定
- ネイチャーポジティブツアー（脱炭素化を含めた生物多様性の保全と回復に貢献する旅行）の造成



## 国民公園の魅力向上

### 京都御苑における取組

- 公家文化への深い理解及び体験による特別感を演出するため、京都御苑の資源を活用した体験型コンテンツの整備を実施



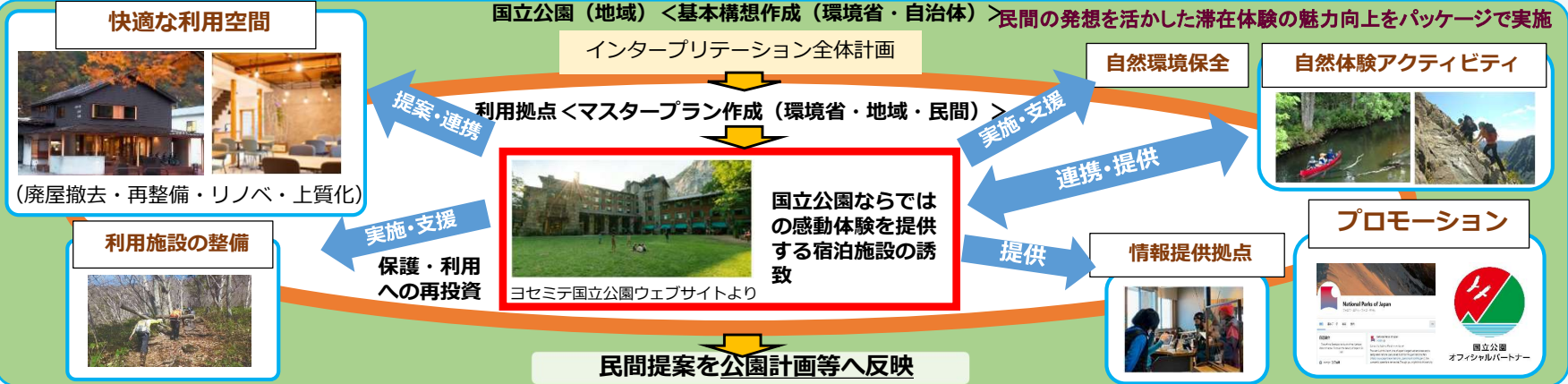
茶の湯を活用したイメージ



公家装束を活用したイメージ

## 国立公園における滞在体験の魅力向上のための先端モデル事業

(イメージ図)



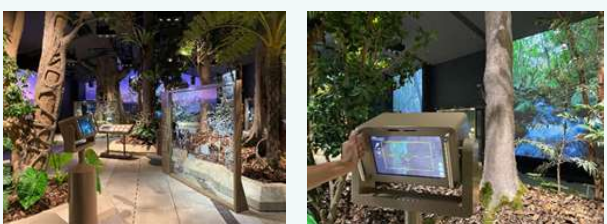
## 多言語解説の整備・充実

- 国立公園等内のICT等活用した多言語標識・展示等の整備
- 国立公園等の多言語解説整備の効率化に係る事業の実施 (How to・モデル実証)
- 同時音声翻訳技術の国立公園への早期展開



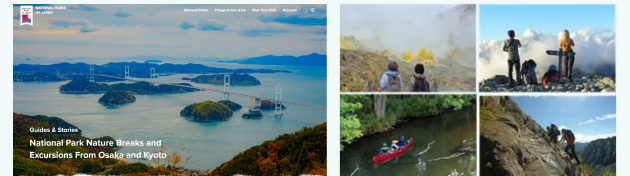
## 国立公園の利用促進

- 国立公園内の利用拠点施設において自然のメカニズムを解りやすく解説するデジタルによる情報提供の強化



## 国立公園の魅力発信

- 2025大阪・関西万博を見据えた国立公園への誘客促進プロモーション
- JNTO・DMO・事業者等が活用する国立公園プロモーション素材の整備





【令和5年度補正予算額 1,270百万円】

## 国立公園利用の高付加価値化に向けて、利用拠点の面的な魅力向上に取り組み、滞在型高付加価値観光を推進します。

### 1. 事業目的

インバウンドが本格的に回復する中、国立公園満喫プロジェクトの新たな展開として、民間活用による国立公園利用拠点の面的な魅力向上の取り組みをモデル地域において集中的に実施する。併せて、感動体験を提供するアドベンチャートラベル（AT）や廃屋撤去による引き算の景観改善を推進し、滞在型・高付加価値観光の推進を図る。

### 2. 事業内容

国立公園満喫プロジェクトの新たな展開として、国立公園ならではの感動体験を提供する宿泊施設を中心とした利用拠点の面的な魅力向上に取り組む。

具体的には、モデル地域において、直轄事業により民間提案を取り入れながら利用の高付加価値化の基本構想及び利用拠点のマスタープラン等を策定するとともに地域における協働実施体制を構築し、宿泊施設とアクティビティが一体となった高付加価値で持続可能な利用を推進する。

併せて、構築した協働実施体制も活用しつつ、改正自然公園法に基づく自然体験活動促進計画制度の利用により必要な許可を不要とすることで自然体験アクティビティの更なる促進を図りつつ、当該計画の作成主体となる市町村等に対し、その効果的な運用事例を示すことができるよう、ATの5つの要素（ユニークさ、自己変革、ウェルネス、挑戦、自然・文化への影響最小化）や文化的要素を備えた自然体験を展開していくための事業を自治体、関係省庁と連携して実施するとともに、利用拠点内に存在する廃屋の撤去による引き算の景観改善を進める。

### 3. 事業スキーム

- 事業形態 請負事業
- 請負先 民間事業者・団体
- 実施期間 令和5年度

### 4. 事業イメージ



基本構想・利用拠点のマスタープラン策定の検討・策定、地域協働体制の構築、サウンディング調査等



アドベンチャートラベルの展開に向けた地域資源の洗い出し、連携枠組みの構築、体験の磨き上げ等

廃屋撤去による景観改善

